

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	
	全体計画		平成28年度	～	令和 2年度	経費区分		経常的経費		内線		土屋
事務事業名	4080 母子・父子家庭支援事業											
所 属	100100 健康福祉部・福祉課											
施 策	02020900 子育て環境の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030206 民生費・児童福祉費・母子・父子福祉費										
	事業	010000 母子・父子家庭支援事業										
事業目的						事業概要・効果						
母子・父子家庭の福祉の推進を積極的に行うことにより地域福祉の向上を図る。						母子・父子自立支援員を設置し、母子、父子家庭の生活全般にわたる相談と自立に必要な指導助言を行う。母子、父子の職業能力の開発のため、講座修了者に支援を行う等母子、父子家庭への支援を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭数 558世帯 ・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 1人500,000円 ・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 2人2,400,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭数 553世帯 ・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 ・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 4人3,792,000円
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭数 564世帯 ・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 2人1,000,000円 ・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 2人2,500,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭数 560世帯 ・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 3人1,500,000円 ・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 2人2,000,000円
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭数 535世帯 ・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 1人500,000円 ・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 3人3,680,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭数 535世帯 ・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 ・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 3人3,650,000円

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		9,049	11,360
特定財源	国庫支出金	2,857	4,318
	都道府県支出金	0	730
	地方債	0	0
	その他	507	1,001
一般財源		5,685	5,311
人員数(人)	正規職員	0.3	0.2
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,179.5	1,453.0
	嘱託職員	2,829.0	2,829.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,008.5	4,282.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,057.5	15,642.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	11	消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	463	母子・父子家庭親子の集い補助金 252 ほか
その他	8,575	母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金 2,000 嘱託職員報酬ほか

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	14	消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	463	母子・父子家庭親子の集い補助金 460 ほか
その他	10,883	母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金 3,680 会計年度職員報酬ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	母子・父子家庭の社会的自立を図るための事業であり、主が主体的に進めていく必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	母子・父子家庭の社会的自立を図るため、就学、就学支援のためには有効な施策である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の人員で事業を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

引続き、社会的弱者である母子・父子対策を進め、みんなが安心して過ごせるように施策を進めて行く。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
-----------	-----------

総合評価コメント

経済的困窮の理由により将来の進学や就学に影響を及ぼさないためには必要な事業であり、担当の相談員の寄り添った支援と併せて重要な施策である。

2次評価コメント

経済的困窮を理由とし、選択肢が狭まることは、経済的貧困の世代連鎖を防ぐためにはさらなる取組みが必要

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--